



第4回理事会

日時 平成30年10月6日(土) 15:58～17:04
場所 旭川トーヨーホテル 2階「珊瑚の間」
出席者 長瀬会長、深澤・小熊両副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・岡部・後藤・笹本・青木各常任理事、松家・恩村・阿久津・山下・稲葉・久島各理事、津田・藤瀬・篠島各監事、本間議長、羽生田議員
(事務局：安達事務局長ほか16名)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

(1) 第1回都道府県医師会長協議会 [9月18日(火)]について (小熊副会長)

事前に提出された10題の質問に対して日医担当役員より回答があった後、質疑応答が行われた。当会から質問をしたUMINオンライン学術集会演題抄録登録システムの継続については、現在500件ほど参加している全国学会が運用できるよう、日医としても継続の要請を進めていくことを確認。その他、8県医師会より医師の働き方改革、消費税問題、JMATの組織化、児童虐待などについて質問がなされた。

(2) 日医理事会報告 (長瀬会長)

第6回理事会では、平成30年度第2回都道府県医師会長協議会開催の件等を協議した。事前の理事打合せでは、東京五輪マラソンについて、データヘルス改革について、地域医療介護総合確保基金についての要望等の意見交換を行った。第7回理事会では、日本医師会設立71周年記念式典ならびに医学大会被表彰者選考の件等を協議した。事前の理事打合せにおいて、医師国保組合の問題について、医療セプターの活動について、ストレスチェックについて等の意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

(3) 日医各委員会報告

1) 医師の働き方検討委員会 [9月14日(金)]

について (藤井常任理事)

委員長に北里大学・相澤名誉教授、副委員長に愛知県医師会・市川副会長と全国自治体病院協議会・望月副会長が指名され、会長諮問「医師の健康確保と地域医療体制を両立する働き方の検討—医師独自の健康管理・勤務環境改善策を中心に—」についてフリートーキングを行った。

2) 学校保健委員会 [9月20日(木)]について (後藤常任理事)

委員長に大分県医師会・藤本常任理事、副委員長に佐賀県医師会・徳永副会長が、前期に引き続き指名された後、会長諮問「児童生徒等の健康支援の仕組みを核とした実践的な生涯にわたる健康教育を推進するために学校医はどうあるべきか」についてフリートーキングを行った。また、来年3月17日(日)開催予定の平成30年度学校保健講習会のプログラムについて協議した。

(4) その他

1) 北海道胆振東部地震の災害対策活動と被災見舞金について (目黒・三戸両常任理事)

9月6日(木) 3時7分に発生した北海道胆振東部地震について、9月9日から24日まで被災地で活動したJMATの活動を報告した。9日(日)から15日(土)までは日本DMATの指揮の下、むかわ町の病院において診療支援等を行い、日本DMATが撤収した14日以降は北海道災害医療コーディネーターロジスティックチームの下、15日(土)から18日(火)まで厚真町において救護所運営を行った。この他、リハビリの支援を目的にDoRATが11日(火)から20日(木)まで、感染症対策を目的に札幌医科大学感染制御・臨床検査医学講座チームが17日(月)から20日(木)まで、エコノミークラス症候群検診を目的に旭川医科大学病院の日本静脈学会混成チームが11日(火)から24日(月)まで3回に分けてJMATとして活動した。なお、今回の対応等について浮き彫りになった課題等を整理し、今後、改善策を検討していくこととしている。また、道外医師会等から当会に寄せられた見舞金の現況につき報告した。

4. 承認事項

(1) 北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について (橋本常任理事)

欠員となっている保険医代表委員について、札幌市医師会より推薦のあった1名を推薦することを承認決定。

(2) 日本医師会会内委員会委員の推薦について (三戸常任理事)

前回の理事会(8月18日)以降に日医より追

加推薦依頼のあった医療政策会議に長瀬会長を、健康食品安全対策委員会委員に山下理事を推薦することを承認決定。

5. 協議事項

第1号 平成30年度北海道医師会表彰に関する件 (三戸常任理事)

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員161名、本会役員・代議員を通算15年以上の会員2名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員340名、国公立等医療施設従業員81名、医師会職員11名の合計595名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者と決定。

第2号 理事提案事項

特になし。

6. 道総医協関連事項(深澤副会長)

第3回理事会(8/18)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

第15回常任理事会

日時 平成30年10月9日(火) 18:30～20:41

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・生駒・後藤・笹本・青木各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事
(事務局：安達局長ほか13名)

協議事項

第1号 地域医療構想アドバイザーの推薦に関する件(三戸常任理事)

笹本常任理事を推薦することと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座23件を承認することと決定。

報告事項

1. 第98回北海道医学大会総会・平成30年度北海道医師会賞贈呈式[9月29日(土)]について (青木常任理事)

吉田会頭(旭川医科大学学長)のもと、贈呈式では北海道医師会賞ならびに北海道知事賞として7名が受賞された。その後、各科トピックス4題の講演が行われた後、岩手医科大学理事長・日本私立医科大学協会副会長・小川彰先生より「働き方改革と日本の医療の未来―守れ世界一の日本の医療―」をテーマに特別講演が行われた。参加者は150名であった。

2. 医療観察法における指定入院医療施設の整備に関する記者会見および住民説明会[10月1日(月)]について(長瀬会長)

本道で未整備となっている医療観察法における指

定入院医療機関について、当会、北海道厚生局、北海道ならびに北海道弁護士会連合会が、それぞれ北海道大学病院に整備を要請してきた。その結果、同病院が医療観察法入院病棟(分院)[札幌刑務所敷地内を予定]の設置計画を進めることとなり、さる10月1日に記者会見が行われ小職が出席した後、北海道大学病院・寶金病院長から、それぞれの団体に回答書が手交された。また、同日、札幌矯正管区体育館において住民説明会が行われ、主催の北海道厚生局から、本道への医療観察法入院医療機関の早期設置の必要性を説明し理解を求めたが、住民からは、対象者が逃走した場合のマニュアルの開示、その際にどのタイミングでどこまでの範囲の住民に伝達されるのか、万が一の際の対応に不安の声が多数寄せられた。次の説明会をできるだけ早期に開催し再度、住民との話し合いを予定している。

3. 外部各委員会報告

(1) 医療と介護の連携の推進に向けた意見交換会 第3回専門部会[9月28日(金)]について (藤原副会長)

地域支援事業(在宅医療・介護連携推進事業)の実施状況と、「北海道医療と介護の連携ビジョンに関する協定(素案)」の説明があり、北海道および医療・介護関係団体が連携協定を締結し、医療と介護の連携を一層促進することとなった。

道総医協関連事項(深澤副会長)

1. 第2回救急医療専門委員会救急医療情報システム検討ワーキンググループ[10月4日(木)]について(目黒常任理事)

来年10月に更新を迎える現行のシステムについて、第1回ワーキンググループで各委員から出された意見を踏まえた改善点等について改めて協議を行い、今後のスケジュールについて確認した。

第16回常任理事会

日時 平成30年10月23日(火) 18:38～20:12

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事
(事務局：安達局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師および更新に関する件 (三戸常任理事)

10月17日の審査委員会で指定可とされた新規2名、再審1名および施設変更に伴う再審2名の申請者を指定医師とすることに決定。また、2年に一度の指定医更新については、更新申請者229名を指定

医師とすること、さらに指定医師の研修機関として指定要件を満たした44機関を指定することと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（生駒常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座14件を承認することと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規申請者17名と更新申請者146名を承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（後藤常任理事）

認定要件を満たした新規申請者1名と更新申請者14名を承認し、日医へ申請することと決定。

第5号 郡市医師会会長協議会 [11月11日(日)]の議題に関する件（三戸常任理事）

11月11日(日)午前10時から北海道医師会館において開催する、第2回郡市医師会会長協議会の提出議題を決定。

第6号 その他

(1) 11月行事予定表に関する件（事務局）

報告事項

1. 勤務医懇談会 [9月14日(金)・小樽市、10月5日(金)・釧路市]について（伊藤・藤井各常任理事）

当該医師会管下の医療機関勤務医を対象に開催した。小樽市ではちょうど1週間前に発生した北海道胆振東部地震への対応について、当会、小樽市医師会から、それぞれ緊急報告を行った。話題提供では、北海道労働局労働基準部監督課・戸高課長から「働きやすい職場環境を目指して一医療現場での働き方改革の取組」と題して、昨年実施した監督指導の取りまとめ結果を中心に話があった。その後、勤務医を取り巻く諸問題について「勤務医が医師会に望むもの」をテーマに地元の先生方からのスピーチ後、活発な意見交換を行った。参加者は小樽市が41名、釧路市が36名であった。

2. 第60回全日本病院学会in東京 [10月6日(土)～7日(日)・東京都]について（伊藤常任理事）

公益社団法人全日本病院協会・猪口会長(医療法人財団寿康会理事長)が学会長となり「成熟社会における医・食・住」をメインテーマに2日間にわたり開催された。特別講演Ⅰとして、厚生労働省・吉田医政局長より「より良い医療に向けて」、特別講演Ⅱとして、学会長である猪口会長より「成熟社会の医・食・住」が行われた。その他「次世代医療分野ネットワークと地域医療連携のこれから～キビタン健康ネット(福島県)と今後のネットワーク医療～」 「地域包括ケアにおける介護医療院の役割」等、多くの講演・シンポジウムが行われた。参加者は約3,000名であった。次回は、来年9月28日(土)～29日(日)、愛知県名古屋市で開催予定。

3. 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議

会 [10月10日(水)・日医]について（橋本常任理事）

本年5月に次世代医療基盤法が施行されたことに伴い、日医では医療情報匿名加工認定事業者となる新たな一般財団法人を11月に設立予定であること、日医情報システム課に医療セプターの事務局が設置されたこと、医師資格証の全国発行枚数が1万2,000枚を超えたことが報告された。また、地域医療連携システムのサーバ等の更新は、システムが単純な更新ではなく機能の追加や拡充を目的としており、その実現のためにサーバの更新も含まれる場合は、その費用も地域医療介護総合確保基金の対象となることも報告された。

4. 第40回産業保健活動推進全国会議 [10月11日(木)・東京都]について（生駒常任理事）

岩手・石川両産業保健総合支援センターから治療と仕事の両立支援やメンタルヘルス対策支援、新潟・那覇両地域産業保健センターからは活動事例の報告があった。その後、最近の労働衛生の動向、産業医の組織化、産業医需要供給実態調査事業等の説明・報告があった後、事前に寄せられた質問に対し4名の発言者により回答があり、意見交換が行われた。参加者は345名であった。

5. 第26回日本慢性期医療学会 [10月11日(木)～12日(金)・鹿児島市]について（水谷常任理事）

医療法人美崎会国分中央病院・藤崎理事長/院長(鹿児島県)が学会長となり「超少子・高齢社会～慢性期医療からの提言～(多死、人口減少、労働力の低下、経済力の衰退に向き合う)」をテーマに開催された。記念講演として、株式会社hapi-robot代表取締役社長/ハウステンボス株式会社・CTO・富田取締役より「AI、IoTによる超少子・高齢社会への対応」、シンポジウム1として、日本慢性期医療協会・武久会長を座長に「これからの医療政策を考える」が行われた。その他、医療と介護の同時改定や慢性期医療等に関するシンポジウム・一般演題が行われた。参加者は約2,200名であった。次回は、来年12月3日(火)～4日(水)に大阪市で開催予定。

6. 第40回東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会 [10月13日(土)～14日(日)・秋田市]について（伊藤常任理事）

「人生100年時代を見据えて」をテーマに開催された。1日目は秋田県総合保健事業団中央健診センターの施設見学が行われた後、懇親会が盛大に行われた。2日目は、日本医師会・横倉会長の基調講演「日本医師会の医療政策」、秋田大学総括副学長・近藤理事の特別講演「高齢者医療に関する秋田大学の取り組み」が行われた後、各道県推薦の7名によるシンポジウムが行われた。参加者は144名であった。次回は2020年9月26日(土)、27日(日)青森県弘前市で開催予定。

7. 第24回日本保育保健学会 [10月13日(土)～14日(日)・新潟市]について（後藤常任理事）

「子どもは未来のたからもの みんなで育てるみんなで育つ 保育保健」をメインテーマに開催された。会頭講演、会長講演等のほか、4つの教育講演、2つのシンポジウム、各種メーカーによるランチョンセミナー等が行われた。参加者は838名であった。次回は来年5月18日(土)～19日(日)に兵庫県神戸市国際会議場で開催予定。

8. 日医JMAT研修基本編 [10月14日(日)・東京都] について (日黒常任理事)

都道府県医師会JMAT担当役員等を対象に開催され、117名が参加した。JMAT総論、救護所の運営、検視・検案の講義3題と、本部機能、被災地における活動、情報の共有・記録、日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有、トリアージ、熱傷・外傷の処置の6題の実習が行われた。実習では、科目ごとに各グループで対応等を協議したほか、EMISの入力訓練などを行った。

9. 医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、病院長・管理者等への講習会 [10月14日(日)] について (藤井常任理事)

日医と共催で「医師の働き方を考える」をテーマに開催した。「地域に必要とされる病院をめざして一医療の質と経営の質ともに向上するために」と題して、岩手県立中央病院・望月名誉院長から、かつては累積損失57億円の経営危機に見舞われていた県立中央病院が一転、医療・経営の質を大改革した取り組みについてと、医師事務作業補助者から、採用、配置、技術向上についての活用術の講演があった後、意見交換を行った。参加者は59名。

10. 学校保健推進委員会 [10月20日(土)・滝川市] について (後藤常任理事)

開催地の滝川市医師会・文屋会長から滝川市の学校医活動について報告あった後、当会から、日医学校保健委員会の進捗状況や予防接種の広域化に関するアンケート調査の報告等を行った。その後、北海道教育委員会からがん教育や学校保健に関する課題について説明があり、意見交換を行った。

11. 第66回北海道学校保健・安全研究大会空知(砂川)大会 [10月21日(日)・砂川市] について

(後藤常任理事)

「北の大地を生涯を通じて、心豊かにたくましく

生きる子どもの育成を目指して」を主題に、砂川市で開催された。学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教職員計144名に対する学校保健功労者表彰が行われた。その後、大阪府済生会中津病院・安井臨床教育部長/感染管理室長から「学校における感染症対策～麻しん、インフルエンザ、感染性胃腸炎などを中心に～」をテーマとした基調講演があった後、3つの部会別研究協議が行われた。参加者は約230名であった。次年度(第67回大会)は函館市で開催予定。

12. 日医理事会報告(長瀬会長)

日本医師会・日本医学会合同公開フォーラム「HPVワクチンについて考える」の件、第114回社会保障審議会医療保険部会の件、平成30年度第2回医道審議会医師分科会医師専門研修部会の件等の報告の後、平成30年7月豪雨に対する支援金の件、平成30年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会共催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合せにおいて、医療事故調査委員会の問題点と医療メデイエーションの問題点について、医師会の准看護師養成について等の意見交換を行った。

13. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「厚生労働省の人事等について②」

10月2日(火)に発足した第4次安倍改造内閣に伴う厚生労働省幹部人事について、小職より報告した。

14. 外部報告

(1) 平成30年度北海道医師会医政講演会の開催について(笹本常任理事)

11月18日(日)開催予定の医政講演会の講師およびテーマ等について、小職より案内した。

道総医協関連事項(深澤副会長)

1. 地域医療専門委員会 第1回在宅医療小委員会 [10月10日(水)] について(藤原副会長)

第7次北海道医療計画にもとづき、北海道の在宅医療提供体制の整備に関する協議を行うため、本年度、新たに設置された標記小委員会の1回目が開催。委員長に小職(北海道総合在宅ケア事業団理事)が、副委員長に草場委員(北海道家庭医療学センター理事長)が互選された。北海道の在宅医療の現状について報告があり、今後の課題・方向性について認識を共有した。